

□議員名：杉本 保喜

1 防災体制の改善状況と今後の方策について

論点	<p>熊本地震に対する支援を振り返り、山陽小野田市の防災における次の状況を問う。</p> <p>(ア) 山陽小野田市業務継続計画(BCP)における見直しを指摘したが、検討の結果を問う。</p> <p>(イ) 災害時の受援体制は、災害復興の重要なポイントである。関係機関との連携の具体的な状況を問う。</p>
回答	<p>(ア)(イ)は、3点について対策を検討している。</p> <ol style="list-style-type: none">1 災害対策本部機能を充分機能させるため、普段からの図上シミュレーション等で対応力を図る。2 避難所開設運営マニュアルの整備と職員の周知徹底に力を入れたい。3 熊本地震の反省からも受援計画の必要性を感じている。 <p>本市は、この受援計画がないので重要課題として鋭意検討していく。また、関係機関との連携・協力関係の拡大に向けて調査・研究を行う。</p> <p>見直しは、年度単位でBCP全体の見直しを図りたい。</p>

論点	<p>庁内の防災体制の見直しや体制の強化を促進させるため、防災専門官の防災関連全体を視る力が必要である。このことを早期に検討するとの回答であるがその検討内容を問う。</p>
回答	<p>総務課あるいは危機管理室の置かれた現状を踏まえ、その中で最善を尽くしていく。</p> <p>白井市長： 防災専門官の設置は、先送りをすることなく年度内に解決する。</p> <p>また、ボランティアセンターについては、地域防災計画に明記しているが、このことに係る協定は、明確にされていない。速やかに協定書を取り交わす等対応する。</p>

2 観光の推進について

論点	「ふるさと文化遺産の指定」と観光振興アクションプランにおける観光資源の魅力向上と利活用について、「庁内関係部署によるプロジェクト会議」での指向性を問う。
回答	「ふるさと文化遺産」は、観光資源としても位置付けられているので昨年度から庁内連携で協議を実施している。今年度はまだ一堂に会しての開催はないが役割分担等随時行っている。今後は「振興ビジョン」の具体化に向けた協議で意識を深め進めたい。

論点	観光ボランティア育成の具体的な戦略プランを問う。
回答	まちあるき観光ボランティア育成については、検討中である。 また、ビジターセンター設定は、どこにするか検討中であるが、大きなビジターセンターを補完するという意味で、ミニ観光案内所という形の市内の施設や個人商店を含めたもので対応できるよう接客の研修を含めた計画を進めていきたい。

3 指定管理者制度の現状と改善について

論点	指定管理者制度において、利用者の意見をどのように把握し、生かしているのかを問う。
回答	施設利用者の意見の処理をフローチャートに記載し、明確にしたが、十分とはいえないので更に不足の部分は再検討する。モニタリングのあり方も紹介された四日市市のものを参考に更に工夫していきたい。

論点	公園モニタリングの現状を問う。
回答	法的に定められた事業報告書を提出・チェックしているが、適宜指定管理者と対面する中で解決していく方向で動いている。指定管理者によるアンケート等をとっているが、意見が反映されていないという声も聴いているので、今後どのように充実していくかに力を入れていきたい。